



令和 6 年度（2024）事業報告書

1. 令和 6 年度活動概要
2. 役員の状況
3. 会員数の動向
4. 理事会・社員総会の開催
5. 委員会・部会
6. 事業活動

（別紙）事業報告の付属明細書

一般社団法人
YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE

1. 令和6年度活動概要

2024年度一般社団法人YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE（以下、YUSA）は、不安定な世界情勢と地球温暖化による自然災害が多発する中、会員企業の皆様と、戦略的に海外でのビジネスチャンス獲得に努めてまいりました。

具体的には、Y-PORT ワークショップでは「国際開発金融機関（MDBs）との連携の可能性」をテーマに、アジア開発銀行（ADB）や世界銀行（WB）の案件化について議論するとともに、各担当者とのネットワーク化を図りました。さらには具体的な案件形成につなげるため、会員企業の皆様と海外出張の機会を持ってまいりました。こうした活動は、着実に皆様の海外ビジネス展開につながっていると考えています。

また、個別訪問等を通じ、皆様との情報交換・意見交換の場を持つよう努めました。その結果、YUSA の新たな取り組みとして、会員企業間の連携による新規プロダクトの開発につながりました。今後はこれを YUSA の主要事業のひとつとし、海外連携事務所や MDBs との連携などを通じ、具体的な案件化につなげてまいります。2024 年度はまたビジネスマッチングや、第 13 回アジア・スマートシティ会議内での海外参加者との商談など、多数の個別商談の場を提供しました。企業間の出会いの場の創出から個別商談のコーディネート、商談のサポートまで、きめ細かい支援を行うのが YUSA ビジネスマッチングの特徴と言えます。今後もこうした YUSA の強みを活かした事業を進めてまいります。

さらには、自主財源の確保の検討から、外部機関による研修事業の有償受託を実現させることができました。その他にも、複数の視察・研修を受け入れ、会員企業の皆様の技術紹介を行いました。また、もうひとつの自主財源として、調査・コンサルティング業務等の受注について検討・実施しました。これらの事業を継続的に受注できるよう、今後も取組を進めてまいります。このように 2024 年度は、持続可能な YUSA の運営につながる様々な取組を進めることができたと考えています。

2. 役員の状況

理事	期末現在	11 名
監事	期末現在	1 名
相談役	期末現在	1 名

3. 会員数の動向

正会員 A	期末現在	10 社
正会員 B	期末現在	17 社
賛助会員	期末現在	7 社

4. 社員総会・理事会の開催

- ① 2024 年 4 月 22 日（月）第 41 回理事会
 - 第 1 号議案 新理事の推薦について
 - 第 2 号議案 社員総会について
 - 第 3 号議案 令和 5 年度事業報告・決算報告それに伴う監査報告
 - 第 4 号議案 会員区分の変更：武松商事株式会社（正会員 B）
 - 第 5 号議案 部会廃止の承認：スマートシティ部会

2024 年 5 月 23 日（木）第 7 回定時社員総会（対面＋オンライン会議）

- 第 1 号議案 令和 5 年度貸借対照表及び損益計算書の承認
- 第 2 号議案 理事及び監事の選任：
 - 理事（新任）：今富雄一郎
 - 監事（新任）：小山英志
- ② 2024 年 5 月 23 日（木）第 42 回理事会
 - 第 1 号議案 業務執行理事、相談役の選任（新任）
 - 代表理事会長：今富雄一郎
 - 相談役：三枝忠裕（横浜市国際局）
- ③ 2024 年 7 月 17 日（水）第 43 回理事会
 - 決議事項なし
- ④ 2024 年 10 月 16 日（水）第 44 回理事会
 - 決議事項なし
- ⑤ 2024 年 11 月 29 日（金）理事会（書面）
 - 第 1 号議案 入会審査：株式会社サイバーコア（正会員 B）
- ⑥ 2024 年 12 月 27 日（金）理事会（書面）
 - 第 1 号議案 入会審査：東邦レオ株式会社（正会員 B）
- ⑦ 2025 年 1 月 15 日（水）第 45 回理事会
 - 第 1 号議案 来年度理事会日程について
- ⑧ 2025 年 1 月 31 日（金）理事会（書面）
 - 第 1 号議案 入会審査：日本原料株式会社（正会員 B）
- ⑨ 2025 年 3 月 19 日（水）第 46 回理事会
 - 第 1 号議案 2025 年度事業計画・予算案

5. 委員会・部会

①事業推進委員会

事業推進委員会委員長：藤枝副会長

- ・具体的なビジネス機会を捉え、分野ごとに部会を設置し事業参画を推進。

1 廃棄物部会（幹事企業：グリーン）

○廃棄物部会参加団体

グリーン、カーボンフリーコンサルティング、武松商事、マクニカ、オオスミ、管清工業、ファインテック、湘南貿易、JFE エンジニアリング、J&T 環境、日本工営、きらぼしコンサルティング、春秋商事（13 社）

○主な活動

- ・ 4 月 4 日（木）：勉強会「脱炭素化社会における高付加価値ビジネスへの転換～環境先進国スウェーデンの事例から考える～PART II」講師：青正澄氏（横浜市立大学教授）
- ・ 5 月 10 日（金）：第 1 回定例会
- ・ 9 月 9 日（月）：第 2 回定例会
- ・ 10 月 12 日（土）～12 月 14 日（土）：横浜国立大学×JICA 連携講座「現場から考える国際開発協力」への協力（11 月 9 日、バングラデシュの開発課題のうち「廃棄物」についてスピノフ企画を実施。JFE エンジニアリングがプレゼンを行い、学生たちと議論。）
- ・ 12 月 4 日（水）：トルコ国 「ブルサ大都市圏における地震リスク軽減・防災計画プロジェクト」及び「地方自治体の災害リスク管理及び廃棄物管理能力向上プロジェクト」への協力（YUSA 及び YUSA 会員企業の技術紹介）
- ・ 2025 年 3 月 6 日（木）：インドネシア プラスチック廃棄物等サーキュラーエコノミー構築支援コースへの協力（横浜における視察コーディネート）：横浜市の廃棄物管理に係る講義及び鶴見焼却工場視察及び JFE エンジニアリングの技術紹介、J&T 環境・横浜プラスチックリサイクル工場視察

○次年度に向けて

- ・ 第 2 回定例会の議論から、セブ市における分別・リサイクルの推進に協力することを決定。セブ市では、未だ市長の方針に沿った廃棄物管理の体制ができていない。横浜市とも連携し、セブ市の行政官等の廃棄物管理能力向上と市民に対する啓発を進めていく。
- ・ 海外からの視察・研修受入等を通じて、YUSA 会員企業のプロモーションを行い、具体的な案件形成につなげていく。
- ・ ごみ問題が深刻化している海外の自治体にとって、YUSA 会員企業の技術・経験は大変貴重であり、視察等のニーズは高い。引き続き視察・研修事業の有償受託の方法等を探っていく。

2 スマートエネルギー部会（幹事企業：マクニカ）

○スマートエネルギー部会参加団体：

マクニカ、オオスミ、JFE エンジニアリング、村田製作所、J&T 環境、T.K.K.エボリュ

ーション、Sansei、カーボンフリーコンサルティング

○主な活動

- ・ 6月21日（金）：横浜市・バンコク都「都市間連携による脱炭素ビジネス機会ワークショップ」@バンコクで、マクニカはセナ・デベロップメント（セナ社）とペロブスカイト太陽電池の実証実験に向けた取り組みを発表。

○次年度に向けて

- ・ 部会としての活動ではなかったが、横浜市とバンコク都との都市間連携を契機として、マクニカとセナ社の連携が実現。またマクニカは、環境省「二国間クレジット制度（JCM）資金支援事業のうち水素等新技術導入事業」に採択され、タイで実証事業を進めていくこととなった。このように具体的な案件が形成され、今後はタイ・バンコク都以外でのさらなる展開について検討する。

3 ヘルスケア部会（幹事企業：Sansei）

○主な活動

- 4月17日：2023年度成果の振り返り
2024年度の見通しについて（ウクライナ、PALM10 などについて）
- 6月19日：ウクライナ復興支援会議（ベルリン）参加報告
ウクライナ支援に向けた意見交換
- 8月5日：インドネシア・ボゴール案件について（村田製作所情報提供）
- 10月9日：ウクライナプロジェクト報告
ウズベキスタン現地調査報告
アジア・スマートシティ会議対応について意見交換
- 2月12日：ウクライナ UNIDO 案件進捗報告
ウズベキスタン案件情報提供
TICAD9 に関わって意見交換（YUSA コートジボワール出張報告）

○次年度に向けて

- ・ ウクライナ支援：2024年度 Sansei 社 UNIDO 案件採択を軸に会員企業の参画検討
- ・ ウズベキスタン案件：透析施設、または、医師/医療スタッフトレーニングセンター設置などに向けて実証等小規模事業を軌道に乗せ、会員企業の事業参画を検討する
- ・ アフリカ進出へのチャレンジ：TICAD9 をきっかけとした事業展開の検討

4 都市開発アドバイザー部会（幹事企業：日本工営）

○主な活動

- 4月25日：2024年度活動について
ベトナム、タイ、インドネシア、フィリピン案件の可能性検討

MDBs との連携について意見交換

- 7 月 30 日：工業団地へのカーボンニュートラルプロジェクト提案検討
工業団地・不動産・都市開発へのコンサル提案検討
- 11 月 27 日：インドネシア・バリクパパン研修員との意見交換
＊バリクパパン市職員等が横浜市で 2 ヶ月間都市開発等の研修を受け、
その総括として意見交換を実施
- 12 月 19・20 日：ベトナム新規案件営業活動（ロンアン省、ドンナイ省）
→ロンアン省ディベロッパーより都市開発協力の要請あり
- 次年度に向けて
- ・ベトナム新規開発案件の受注を通じ、会員企業の提案可能性を検討する
 - ・MDBs 案件の受注を通じ、会員企業の提案可能性を検討する

②総務財政企画委員会

- 総務財政企画委員会委員長：大下副会長
- 事務局：JFE エンジニアリング
- ・YUSA の運営に関わる各種検討を実務者レベルで協議
 - ・YUSA 組織の今後のあり方等についても協議
- 委員会構成：JFE エンジニアリング、カーボンフリーコンサルティング、日本工営、横浜市国際局
- 2024 年度主な検討・活動事項
- ・MDBs 案件組成の可能性検討ならびに本件に関する理事会への報告・提案
 - ・ADB が開催する Business Opportunity Fair (BOF) (10 月 9-10 日) への参加
→会員企業に対して参加勧奨を行い、MDBs 案件組成の可能性を模索
JFE エンジニアリング、日本工営、村田製作所、京三製作所が現地参加

6 事業活動

①調査事業

<海外受注>

- ADB インド 100 都市廃棄物管理向上プレ調査の受注
- 環境省 JPRSI ベトナム国ビジネスマッチング成功要因分析調査
- 環境省 JCM 都市間連携バンコク案件：横浜企業の参画推進、現地企業マッチング

②案件形成支援事業

<国内受注>

- JICA 課題別研修 「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化」

<国内>

- 部会活動：上記の通り

b. 海外連携事務所

昨年に引き続き3拠点で、現地の情報収集、会員企業の技術・ソリューション情報の現地代理発信を軸とした活動を実施。

(1) セブ連携事務所（グーン）

- ・現地展示会等で会員企業ソリューションの情報発信
- ・マンドラウエ市・YUSA 間協力覚書（2023年11月締結）に基づく企業面談の設定
- ・企業のフィリピン展開支援 等

(2) ダナン連携事務所（オオスミ）

- ・現地経済界（商工会 VCCI、青年会議所 YBA）とのネットワーク継続構築
- ・現地経済界とのビジネスマッチングイベントの開催
第6回 YBA ビジネスマッチング 7月19日：日12社、越26社参加
第2回 VCCI ビジネスマッチング 8月1日：日6社、越11社参加
第7回 YBA ビジネスマッチング HCM 開催 12月21日：日6社、越11社参加
- ・会員企業と現地企業の個別商談コーディネート
- ・企業のベトナム展開支援 等

(3) バンコク連携事務所（日本工営）

- ・バンコク都チャチャート政権の政策評価およびビジネス展開可能性の検討

c. 企業への営業アドバイス・ソリューション開発支援など

- ・海外展開にあたり課題をもつ会員企業に対してアドバイスを実施：25件
- ・海外の市場動向をにらんだ新製品開発のための助言等を実施

d. アジア・スマートシティ会議（ASCC）でのマッチング支援

10月23・24日開催されたアジア・スマートシティ会議への出展企業とりまとめ、および当日の参加都市・国際機関とのマッチング支援：21件

e. タイ・ビジネスマッチングイベントの開催（9月20日）：タイ5社、日本5社

③プロモーション事業

a. Y-PORT ワークショップの企画・運営

第1回：「アジア開発銀行を知る」 7月18日 77名参加

「アジア開発銀行(ADB)のご紹介—概要、業務内容、重点分野」

講師：ADB 駐日代表 田村由美子氏

第2回：「世界銀行を知る」 9月27日 80名参加

「世界銀行の調達の仕組み：フィリピン案件の事例」

講師：世界銀行シニア調達スペシャリスト Dominic Aumentado 氏

「東京開発ラーニングセンター（TDLC）について」

講師：TDLC プログラムオフィサー 俵 渉子氏

第3回：「アジア開発銀行・案件形成のプロセスを知る」 12月16日 77名参加

「ADB のソブリン/ノンソブリン向け支援制度およびツールのご紹介」

講師：ADB 駐日代表 田村由美子氏

「Country Partnership Strategy および国別支援計画の立案・実行」

講師：ADB カントリーダイレクター 富永二郎氏

「分野別の案件形成と具体例：水・都市開発セクター」

講師：ADB セクターグループ・ダイレクター 石井暁氏

「分野別の案件形成と具体例：運輸・交通セクター」

講師：ADB 上級運輸専門家 坂口聡美氏

b. 会員企業ソリューション紹介 web ページの更新

<https://www.yusa.yokohama/corptop>

YUSA 入会メリット説明ページの新設

<https://www.yusa.yokohama/merits>

④その他

- ・「TICAD9 に向けた市内企業のアフリカビジネス展開支援事業」に関する協定書を横浜市と締結し、以下の事業を実施

1 TICAD9 に向けたアフリカビジネスセミナーの開催：1 月 23 日、2 月 18 日

2 ASCC におけるアフリカ企業のテクニカルツアーの実施

3 日アフリカ官民経済フォーラム（12 月 16 日@コートジボワール）での市内企業 PR およびネットワーキングの実施

(別紙) 事業報告の付属明細書

2024 年 4 月

- 4 日 廃棄物部会勉強会
- 5 日 マンダウエ市長来浜（グリーン、JFE グループの技術紹介と施設視察）
- 17 日 ヘルスケア部会
- 22 日 第 41 回理事会
- 25 日 都市開発アドバイザー一部会

2024 年 5 月

- 9 日 第 1 回 Galerio 企画委員会参加
- 10 日 廃棄物部会第 1 回定例会
- 23 日 第 7 回定時社員総会／第 42 回理事会

2024 年 6 月

- 19 日 ヘルスケア部会
- 21 日 横浜市・バンコク都「都市間連携による脱炭素ビジネス機会ワークショップ」

2024 年 7 月

- 11 日 第 2 回 Galerio 企画委員会参加
- 17 日 第 43 回理事会
- 18 日 第 1 回 Y-PORT ワークショップ
- 19 日 ダナン連携事務所：YBA ビジネスマッチング
- 30 日 都市開発アドバイザー一部会

2024 年 8 月

- 1 日 ダナン連携事務所：VCCI ビジネスマッチング
- 5 日 ヘルスケア部会

2024 年 9 月

- 9 日 廃棄物部会第 2 回定例会
- 12 日 第 3 回 Galerio 企画委員会参加
- 20 日 ビジネスマッチングイベント@タイ
- 27 日 第 2 回 Y-PORT ワークショップ

2024 年 10 月

9日 ヘルスケア部会
9-10日 ADB Business Opportunity Fair (BOF)2024 参加
16日 第44回理事会
12日 横浜国立大学×JICA 連携講座（～12月14日、毎週土曜日）
22-24日 第13回アジア・スマートシティ会議（出展企業とりまとめ、参加都市等との
ビジネスマッチング支援）

2024年11月

27日 都市開発アドバイザリー部会
29日 理事会書面決議

2024年12月

4日 トルコ国・廃棄物管理能力向上プロジェクトにおける講義
16日 第3回 Y-PORT ワークショップ
16日 日アフリカ官民経済フォーラム@コートジボワール
19-20日 都市開発アドバイザリー部会
21日 ダナン連携事務所：YBA ビジネスマッチング@ホーチミン
27日 理事会書面決議

2025年1月

14-30日 JICA 課題別研修「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化」実施
15日 第45回理事会
16日 第4回 Galerio 企画委員会参加
23日 TICAD9に向けたアフリカビジネスセミナー（第1回）
31日 理事会書面決議

2025年2月

12日 ヘルスケア部会
18日 TICAD9に向けたアフリカビジネスセミナー（第2回）

2025年3月

6日 インドネシア・サーキュラーエコノミー構築支援コースの視察受入
10-13日 モンゴル国ウランバートル市出張
19日 第46回理事会